

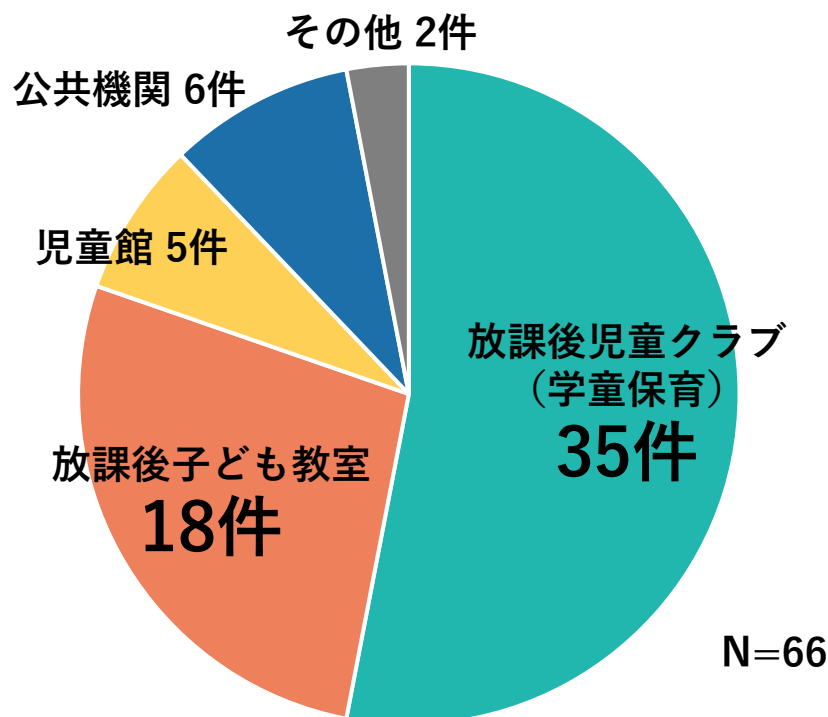
【学童保育等運営事業者対象】
放課後活動におけるオンライン活用調査アンケート結果

2020.10.9

【放課後活動におけるオンライン活用調査アンケート概要】

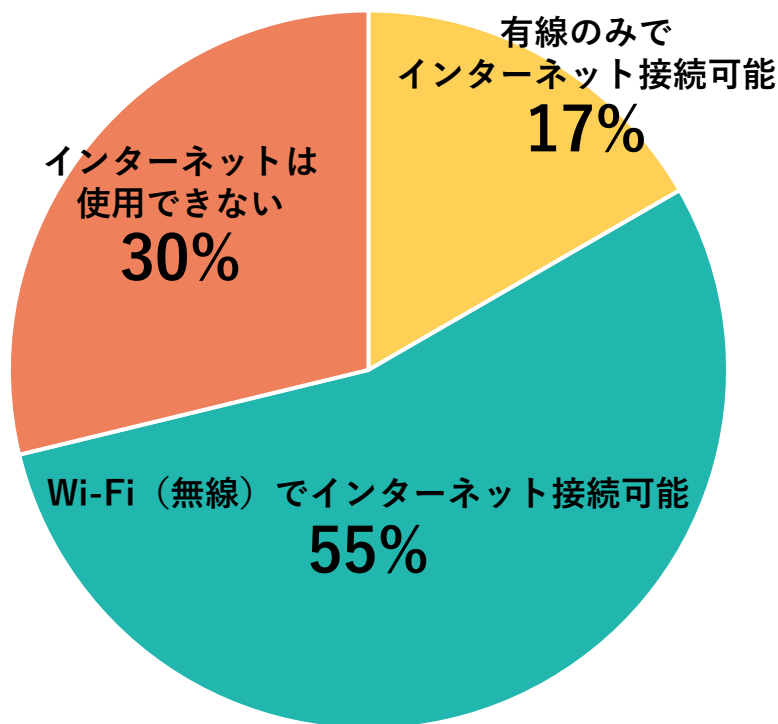
- 実施期間 : 9月4日（金）～9月11日（金）まで
調査方法 : インターネットでのアンケート調査
(SNS、メール配信にて広報)
対象 : 学童保育等放課後の居場所運営事業者
総回答数 : 66件

【団体の種類：内訳】



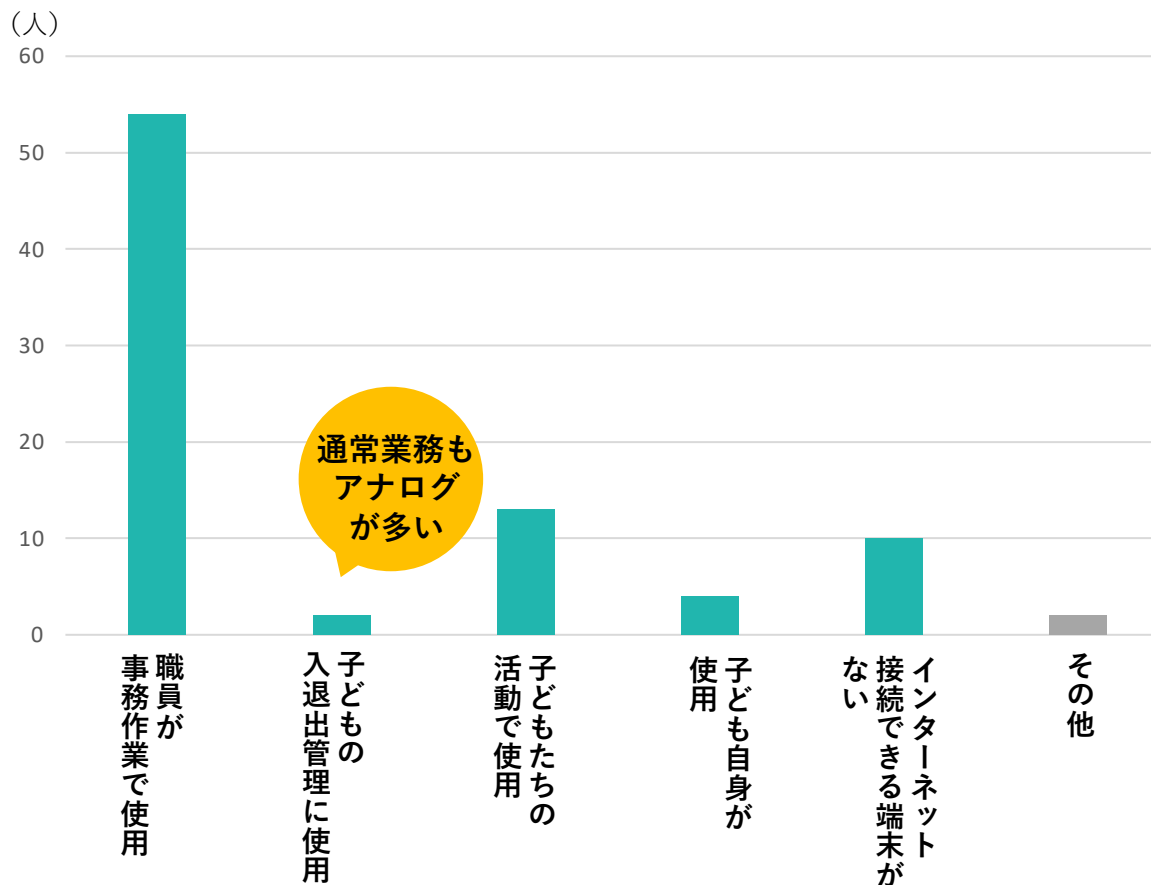
7割以上はネット環境があるが、無線で利用できるのは約半数
3割はインターネットが使用できない

- ・ 日常的にインターネットを使用することができますか？



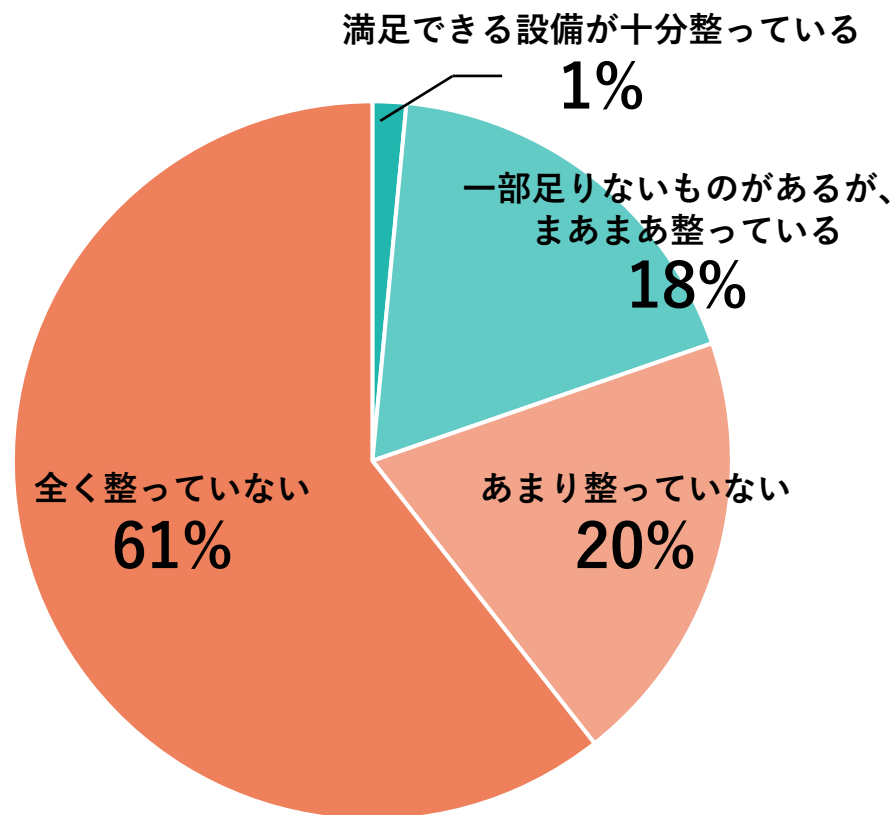
端末のほとんどが事務利用 子ども自身ではほとんど使用できない

- ・業務用のパソコンやタブレットなどの端末はありますか？
またそれらをどのように使用していますか（複数回答）



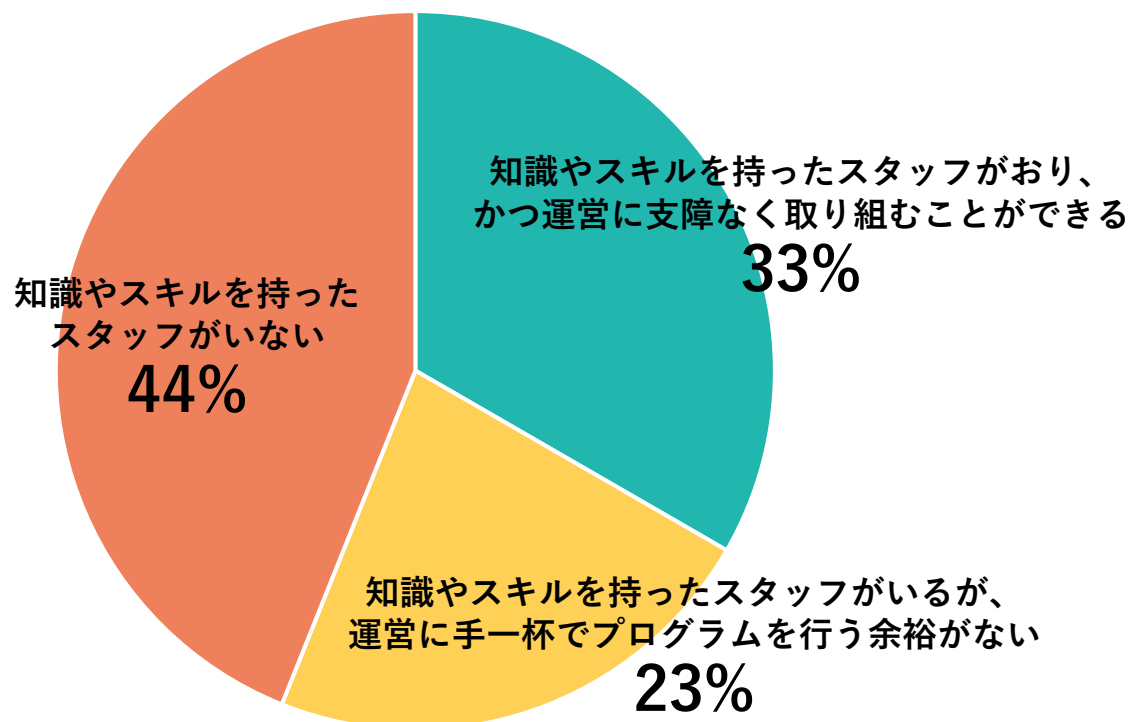
8割以上が充実していないと回答 満足している施設はわずか2%

- ・オンラインでの会話やプログラムを楽しむために設備は十分整っていますか？



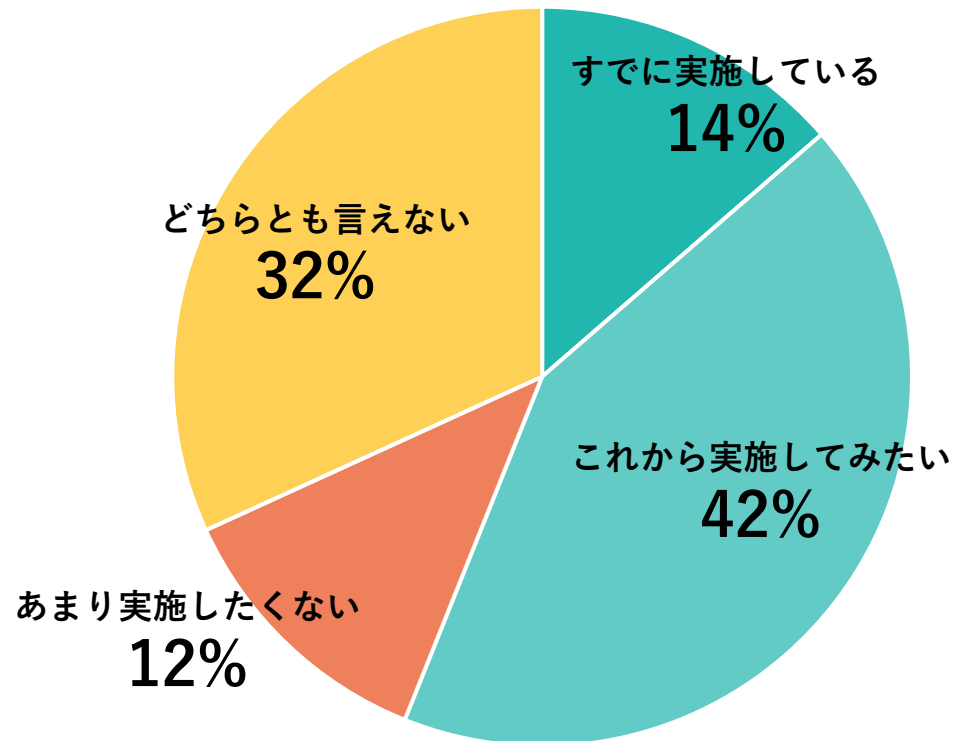
専門知識やスキルを有する**スタッフ**がいない 施設が半数近く

- 十分な環境や設備があれば、インターネット接続およびオンラインを活用した活動（プログラム・遊び）ができる職員の方がいらっしゃいますか？



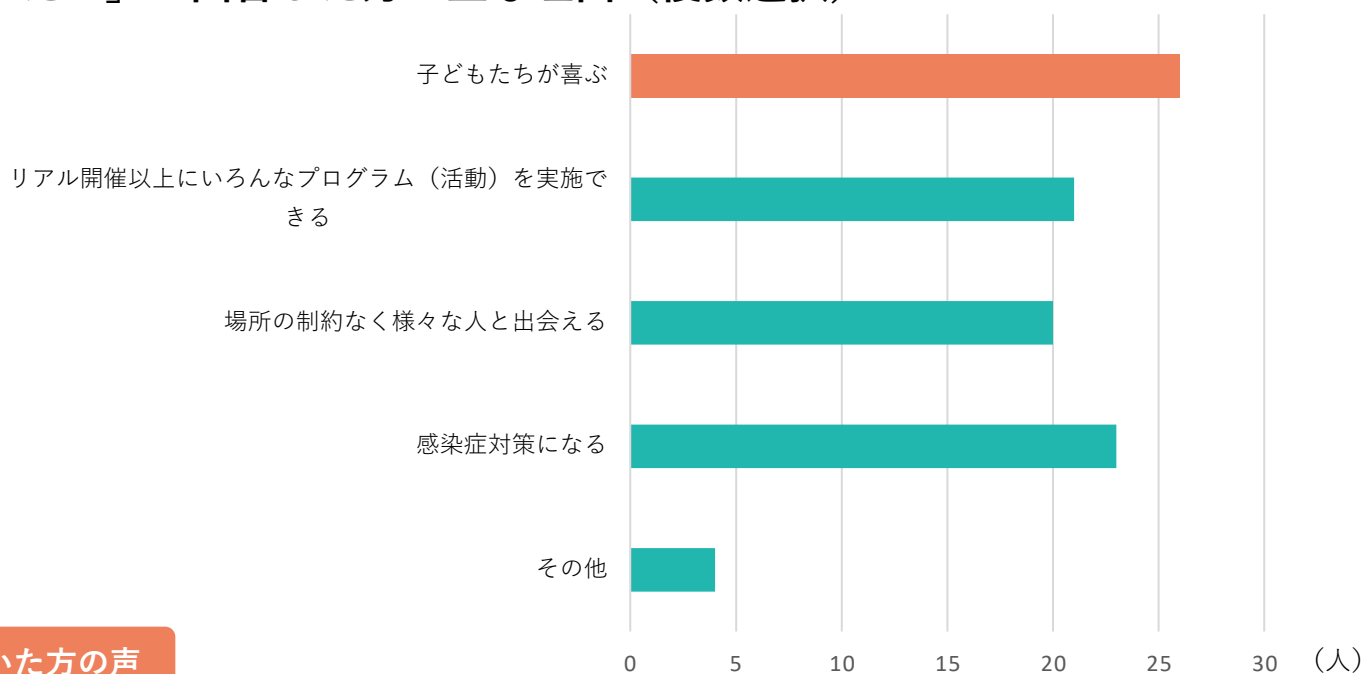
全体の**半数以上**がオンラインプログラムに意欲的
一方で「どちらとも言えない」と迷いも

- ・今後、オンラインを活用した活動（プログラム・遊び）を実施してみたいですか。



1番の願いは子どもたちが喜ぶこと 安全性と担保しつつ学びは諦めない

・「実施したい」と回答した方の主な理由（複数選択）



N=37

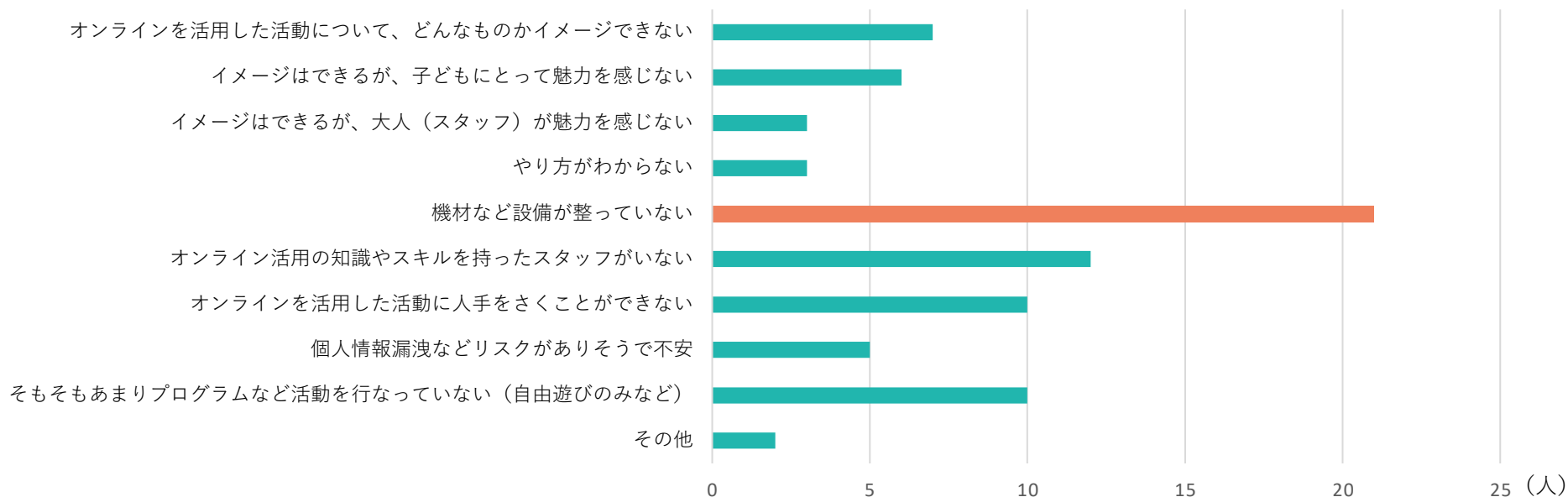
回答いただいた方の声

これからの時代、場所の垣根を超えて繋がっていくことは、狭い枠から広い世界を知るための大切な学びに溢れていると思っています。（神奈川県藤沢市／フリースペース）

放課後で本来大事にしたい活動は、地域・企業・学生など様々な人との出会い・ふれあいを通じた体験であるため、コロナ禍においても安全性を担保しつつ可能な道を探っていきたい。（現状では）現実問題として、それらを実現するためにはオンラインでの活動のみが実現する可能性を秘めていると思います。（兵庫県芦屋市／放課後子ども教室）

機材・設備不足が最大のハードル 人員不足も大きな課題

・「どちらとも言えない」「実施したくない」と回答した方の主な理由（複数選択）



回答いただいた方の声

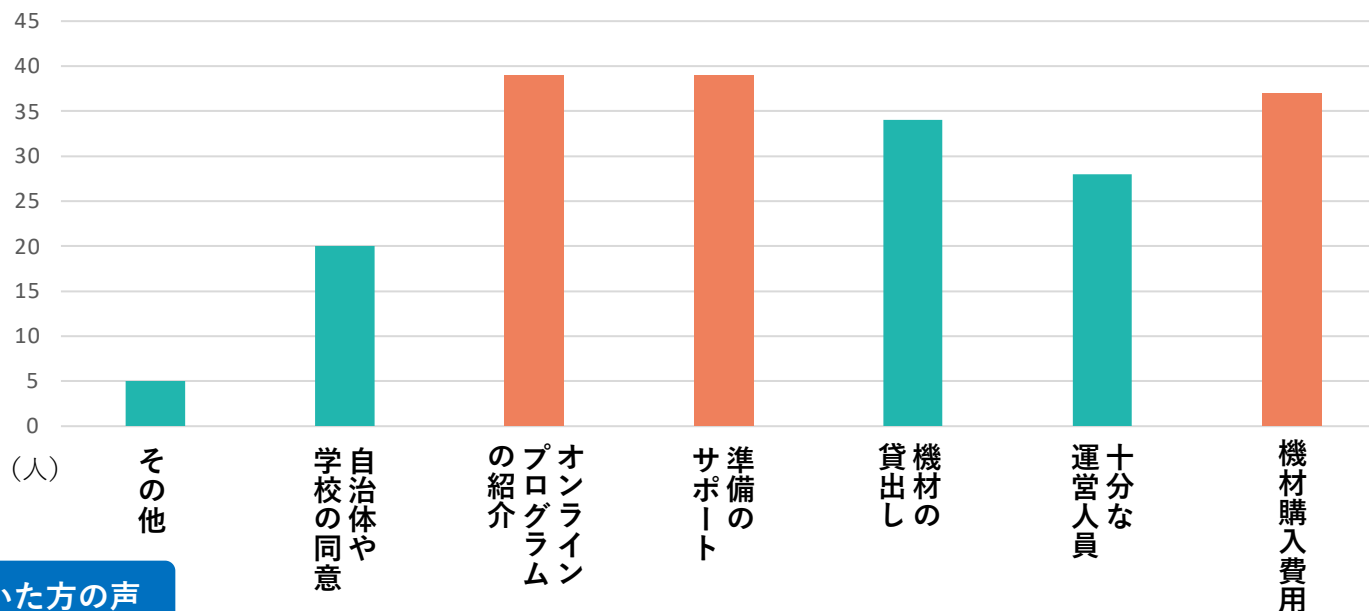
N=29

時々Youtubeを見ることはありますが、それ以上のオンラインプログラムはまだピンと来ない状況です。なにより・・・50代以上の女性職員だけでオンラインプログラムの準備をするのが難しい。（群馬県前橋市／放課後児童クラブ）

子どもの遊びはこれからどんどんバーチャルが進み、家庭ではゲームなどに夢中になる時間が、また学校でもインターネットを活用した学習が増えていきます。そんな中、唯一、アナログな活動が出来るのが放課後児童クラブではないかと思えます。また、そういう遊びが子どもの健全育成のために欠かせないとも思っています。（島根県飯南町／放課後子ども教室）

人・モノが全般的に不足 経験者のサポートがあれば一歩踏み出せる面も

- どのような支援があればオンラインを活用したプログラムを実施しようと思いますか（複数選択）



回答いただいた方の声

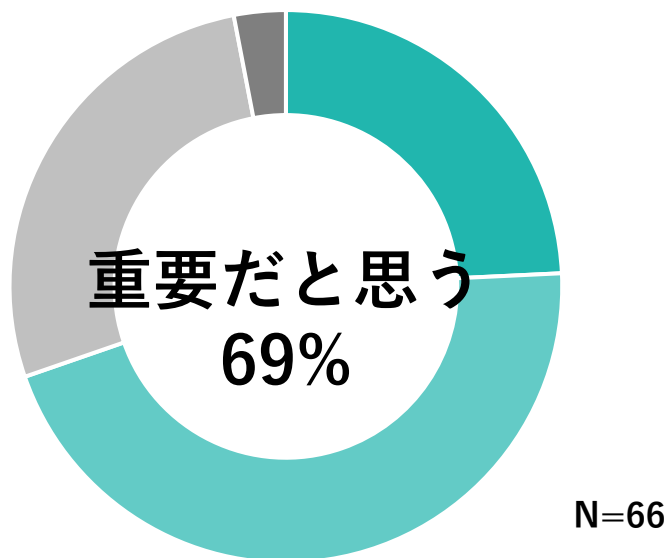
N=66

今後の事を考あえると、PCになれるということも大切かと思いますが、環境があまりにも整っていないので考えられないというところ。 (大阪府茨木市／放課後子ども教室)

今後機会があれば取り組みたいが、機材がそろっていないことと児童数が多いため、円滑に行うことができないと感じる。 (島根県松江市／放課後児童クラブ)

約7割がオンライン活用を重要視 コロナ禍の現在ではなく、未来を見据えて

- ・子どもたちの放課後の活動（遊び）を広げるものとして、オンラインプログラムは重要だと思いますか？



リアルな体験を最も大切にしながら時代にあった遊びと学びを求める声

放課後児童クラブは子どもの遊びを大切にする場なので、遊びの選択肢を広げるという意味ではオンラインプログラムも重要な要素だと思います。（埼玉県三郷市／放課後児童クラブ）

本来ならリアルに人から伝わる方がよい。特に遊びの場合は、それも大人からより、子どもの中で、年長者からの伝承として伝わるのが理想だと考えます。ただそれが決定的に不足している現状があるので、補完的に利用できればと思っています。（千葉県千葉市／放課後児童クラブ）

その他 皆様からのご意見

〈オンライン活用への期待〉

- ・ これからの生活の中でパソコン、タブレット、オンラインなど子どもたちの生活の中では切り離せないことだと思っています。ある程度のルールの中できちんと使うこと、いろいろな人に出会うこと、色々な情報を得ることは知識を得ることにつながります。（岡山県／放課後児童クラブ）
- ・ 新しい生活様式として、現況を超えた体験学習（遊び）ができるように思う。次世代を担う子どもたちにとって、知らない事をそのままにせず＜なんで？ どうして？＞の前向きな考え方の機会が増すことは、とても有効だと思う。（大阪府／放課後児童クラブ）

〈放課後の居場所ならではのリアルな経験を重視〉

- ・ オンラインの繋がりも大切だが、子どもたちの中にはコミュニケーション力が弱い子も多い。本来はリアルなコミュニケーション、繋がりを大切にしたい。しかし、コロナ禍にあってオンラインという方法も必要であるし、リアルには無い可能性もあると思う。（岐阜県／児童館）

その他 皆様からのご意見

- ・オンラインがない時代があったことを考えると、必ずしも必要と感じない。家でゲームやYouTubeばかり見ている子どももいる。四角い画面を覗いてばかりで、コミュニケーション能力が育つのかは疑問。時代遅れなのかもしれないが、学童で導入する必要はないのではと考える。ただ、コロナになり、学校でのオンライン環境が整っていれば、子どもたちの学習環境は豊かなものになったと思う。（埼玉県／放課後児童クラブ）

〈オンライン環境整備について〉

- ・学校にあり、先生方も使用している市のネット備品を共有するなら、市が考えているセキュリティの厳しさに対応出来るイベントか？も重要なポイント。（東京都／放課後子ども教室）
- ・今後ネットワークを通じた情報に対するリテラシーを育てる機会は必要となる。学童クラブ（児童館）においても ネットワークプログラムとリアルプログラムのメリット・デメリットを抑え、その両輪を考えていく必要があると考えている。（京都府／児童館）